

擧

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和6年 2月2日(金) Vol.38

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も、自分も、大切にしよう」

「あきらめずに、取り組もう」



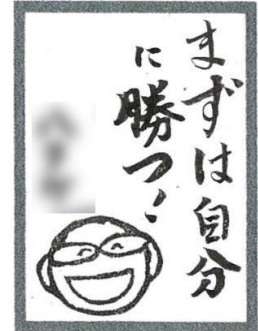
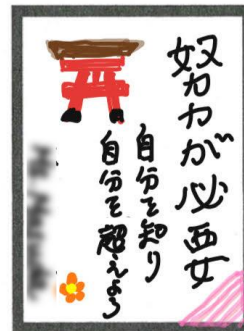
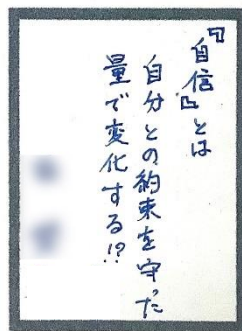
【ホームページへ】

図書室へ行こうよ！

毎回、意表を突くような面白い企画を、次々に打ち出す本校の図書室。2学期に、「先生のサインおみくじ」で盛り上がっていましたが、今学期は、「先生による開運おみくじ」を実施しています。QRコードで読み込んで引き当てると、本校教職員が腕によりをかけて作ったオリジナルおみくじが、あなたの未来を指し示す！！……というものです。



【当たるも八卦、当たらぬも八卦。選んで、引いて、運をつかめ！】



【こんなおみくじが当たります。このおみくじは、誰が書いたものでしょうか？】

「セレンディピティ」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。「思いもよらない偶然がもたらす幸運」という意味で、「牛に引かれて善光寺参り」という日本のことわざと似ています。最近は、「図書室・図書館での、本との出会い」という解釈で用いられることが多くなりました。

このような、図書室での企画を通して、「たまたま図書室で、くじ引きしつつ本を借りたら、意外に面白かった」という偶然の出会いを経験してほしい、と考えています。

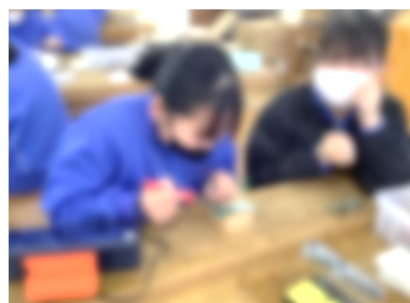
検索した本に一瞬でたどり着ける電子書籍にも、もちろん便利さや手軽さはありませんが、本棚を端から順に指でたどって探している中で、目当てのものとは違うものを見つける、というのは、紙の本ならではの味わいではないか、と思います。

ものづくりから学べること

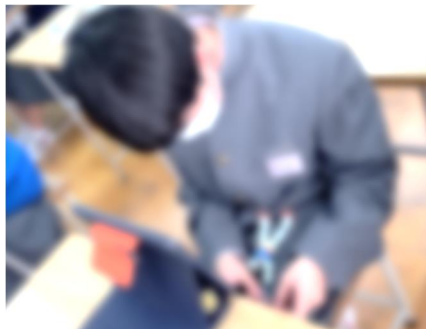
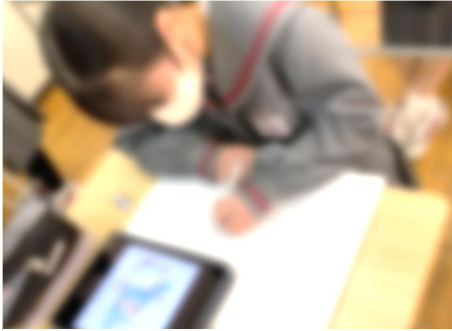
技術・家庭科や美術科での活動の様子を紹介します。得意・不得意はあっても、楽しそうに取り組んでいます。

各クラスの授業の様子を見ていて、特に好感が持てるのは、助け合って取り組んでいることと、互いに相手の作品や取組を尊重し合っていることです。ちょっとした失敗を互いに笑い飛ばしたり、景気よく励まして元気づけたり、うまくできるように手を貸したりして、みんなで作りあげようとしている様子は、微笑ましく、心が温かくなります。

行事や係活動だけでなく、日常的な学習の場面でも、協調性や相手を大切にすることを養うことができるのだと考えます。また、これらの活動を通して、職業選択のきっかけをつかむことができればいい、と常々願っています。



【2年生の技術科は、LEDあんどんを作成中。ハンダ付けは、ほとんどの生徒が初めてだったようで、ドキドキしながら作業に取り組む、丁寧にできました。あとは、台座に基盤を組み込んで、カサをデザインして…愛着を持って末永く使えますように】



【美術の時間は、コマ撮りアニメーションづくり。みんな夢中です。パラパラ漫画の要領で、イラストをアニメにしたり、プラモデルを動かしたり。中には、筆箱や消しゴムなど、身近な品物が意思を持つかのように動くアニメもあり、見ていても面白いです】



【1年生の家庭科は、ファイルカバーを作成中。仲間同士でにこにこ話していた人も、ミシンを前になると、真剣な表情で、カタン…カタン…と、ゆっくり、慎重に取り組みます。まるで熟練の仕立屋さんようです。】

いいものを作りたい、上手に仕上げたい…と様々なイメージを描きながら、誰もが一生懸命活動しています。中には、「私は不器用だから」などと苦手意識を持っている生徒もいるかもしれませんが、しかし、「好きこそもの上手なれ」ということわざがあります。「楽しくできた→好きになった→たくさん活動した→力がついた→さらに楽しくできた→……」と向上していけるとよい、と思います。生徒が意欲をもって、主体的に学べるように、これからも学習内容の工夫に取り組んでいきたいと考えます。

いざ、出願！



【3Aは、「封筒に入れてのり付けしたら、×の印を書くんだよ」と言われて「×!?!」と驚いた様子。3Bは大型モニターで、出願後の日程の確認をしています】

この期間も、体調を崩さずに日々を過ごし、粘り強く諦めずに、学習を積み重ねてください。

なお、公立高校の入試の両日は、1、2年生にとっては3回目の定期テストの日です。こちらも全力を発揮できるように、日々の授業を大切に、コツコツと取り組みましょう。

20日(火)、21日(水)は、いよいよ千葉県公立高等学校入学者選抜の検査日。それに向けて、1月30日(火)、3年生は、志望校に向けて志願書を郵送しました。出願の完了です。

志願書は、書き方が細かく定められており、3年生は、何度も下書きをするなど入念な準備をしてきました。今日から入試日まで、2週間あまり。入試当日はもちろんですが、

「春の歌♪」

27日(土)、〇〇さんと〇〇さんが「千葉県吹奏楽個人コンクール・木管楽器部門」に出場し、「春の歌（メンデルスゾーン作曲）」を奏でました。スポットライトだけが煌々と光る、大きな舞台上、2人だけでの演奏です。

サクソの柔らかな音色が、軽やかなピアノに引き立てられ、会場いっぱいに温かな雰囲気広がっていきました。演奏を終えた後の余韻もしみじみとしていて、感動的でした。

「緊張しました」と話していましたが、全くそれを感じさせない素晴らしい演奏でした。今後の活躍も、楽しみです。

